

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	テクノフェア推進事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'03	3 世界の市場を視野に入れて、産業間の交流や産学公の連携を進める	
根拠法令等	湘南ひらつかテクノフェア推進事業補助金交付要綱		
対象・受益者	市内企業、大学	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働：平塚商工会議所】		
	目的・目標		事業の概要
企業間の連携・取引の促進、企業と大学等との技術交流が行われ、工業の活性化が図られています。		工業の活性化のため、企業等が製造した製品を展示し、PRするとともに交流を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	テクノフェア出展企業・団体数			単位	団体
	説明・算定式	テクノフェアへの出展企業・団体数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	120	120	120		
	実績	126	108	106		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	商談件数			単位	件
	説明・算定式	テクノフェア開催中の商談件数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	600	610	610		
	実績	589	721	629		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	②：若干遅れている					
	遅れている理由	商工会議所と連携し出展企業等の開拓を行ったが、出展キャンセル等があったため				
平成27年度の主な取組と成果						
106の企業・団体の参加により湘南ひらつかテクノフェアを3日間開催し、販路の拡大や企業間等の交流を促進しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	企業などが製造した製品を展示し、PRするとともに産学公の交流を図るためテクノフェアを実施することは、産業の活性化のために必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続することにより販路の拡大や業務提携がさらに拡大されるなど有効性が高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	企業間の連携・取引の促進、企業と大学等との技術交流が行われることで産業の活性化が図られるため、補助額を含め、妥当性は高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	平塚商工会議所や関係団体が連携し、実行委員会形式で実施することで効率的な事業運営を図っています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 販路の拡大や企業間等の交流の促進を図るため、市内外の関係機関と連携を図りながら出展企業や団体を増やす必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		テクノフェアの開催	テクノフェアの開催	テクノフェアの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	2,800	3,000	2,800
事業費 (A)		2,800	3,000	2,800
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 平塚商工会議所等と連携し出展者を募集するとともに、出展者や来場者のニーズの把握に努め、内容の充実を図ります。
課長コメント 企業間及び大学等との技術や情報の交流を促進し、産学公の連携強化と地域産業の活性化を図るため、継続的に実施していくとともに、積極的なPRに努めるなど、出展企業や団体の増加を図る必要があります。